



証券コード：3422

第2四半期決算のご報告

2022年4月1日から2022年9月30日まで

# 株主通信

A decorative graphic on the bottom half of the page. It features a red background with a white diagonal stripe. On the red background, there is a white outline of a car's interior and exterior, overlaid with white circuit-like lines and dots. The text 'Make our dreams by Technology' is written in white on the diagonal stripe.

*Make our dreams by Technology*

# 株主の皆様へ

## ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび当社第65期第2四半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）を終了いたしましたので、営業概況及び第2四半期決算のご報告を申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年11月

代表取締役 社長執行役員 **齊藤 浩**

## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、多くの国で「ウィズコロナ」への移行が進んだことで経済成長は持続いたしました。しかしながら感染再拡大に伴う活動制限の強化やウクライナ侵攻、資源価格の高騰等により成長ペースは鈍化するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、輸出向け製品において半導体を中心とする部品供給不足の影響を受けたものの、活動制限の緩和に伴う内需の拡大に牽引され、生産、販売ともに前年同四半期を上回るなど、市場環境は回復傾向にあります。中国では、半導体供給不足及び上海ロックダウンに伴う厳格な活動制限の実施により生産、販売ともに大幅に減少するなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。日本では、部品供給不足は緩やかに解消傾向にあるものの、依然として生産回復には至っておらず、販売台数も低迷が続くなど、不安定な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の最終年度として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は23,119百万円（前年同四半期比13.1%増）、営業利益は828百万円（前年同四半期比41.7%減）、経常利益は809百万円（前年同四半期比38.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円（前年同四半期比63.2%減）となりました。

また、当期の中間配当は、1株につき8円とさせていただきます。期末配当につきましては1株につき8円を予定しております。ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

# トピックス

Topics  
1

## J-MAX 商号変更

当社はおかげさまで、2022年7月1日で創業70周年を迎えました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と心より感謝申しあげます。

そしてこの度、今後の新たなグローバルでの成長ステージへの移行を見据え、当社のブランド力を強化することを目的として、「株式会社 J-MAX」に商号変更いたしました。(2022年7月1日付)

現在自動車業界は、CASEなどに代表される100年に一度の変革期にあり、さらに足許では新型コロナウイルス感染症が世界的に深刻な影響を与えるなど、当社を取り巻く環境は日々目まぐるしく変化しております。このような社会の変化に対応すべく、当社グループはより一層、技術を磨き、優れた商品を提供することで、お客様や社会に貢献し、更なる企業価値向上を目指してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

JAPAN	日本のもづくり技術を世界で役立てたい
JOYOUS (ジョイアス)	従業員・お客様・地域社会にとってもっと楽しく、喜びに満ちたものづくり
JUDICIOUS (ジュディシヤス)	チャレンジの中にも思慮深さがあるものづくり
JUT (ジャット)	飛び抜けた発想で世界中に広がるものづくり
MAX	新たな目標を胸に、ものづくりの価値を最大化

Topics  
2

## 広州丸順 CATL受注状況

広州丸順社は、車載用電池市場において世界トップシェアを誇る寧徳時代新能源科技股份有限公司 (以下、CATL) と、2021年7月より量産取引を開始して以降、戦略的に受注拡大に努めております。

2022年7月には、顧客の開発スピードへの対応力強化による受注拡大を目指し、CATL本拠地である福建省に開発・営業センターを設立し、初期段階におけるCATLとの共同開発により、新規案件の受注獲得につながっております。CATLとは、中国の自動車メーカー広汽埃安新能源汽车有限公司 (GAC AION) 向けバッテリーカバーの製品受注を皮切りに、2022年11月現在においては、計15車種の電動化関連部品の受注を獲得しております。

今後、中国市場だけでなく、世界規模で急激に拡大していく電動車需要の中でCATLとの関係をより強化すべく、引き続き積極的な技術交流を図り、継続的な受注拡大を推進してまいります。



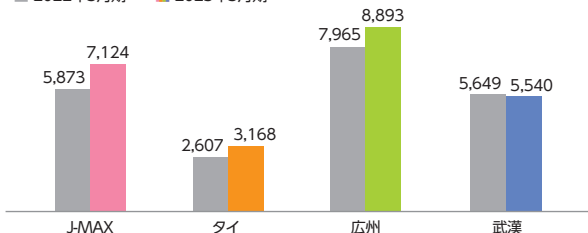
福建開発・営業センター(8F)

# セグメント別業績

## セグメント別売上高 (第2四半期)

(単位: 百万円)

■ 2022年3月期    ■ 2023年3月期



### 増収減益

【株式会社 J-MAX】

J-MAXにおいては、部品事業にて主要客先の生産回復影響及び原材料価格高騰による製品売価の増加等により、売上高は増加いたしました。また、生産効率改善等の原価低減活動を推進したものの、原材料価格の売価反映の時期ズレ及び主要客先の生産変動に伴う労務費負担の増加に加え、金型調達コストの増加等の影響により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は7,124百万円(前年同四半期比21.3%増)、経常利益は299百万円(前年同四半期比51.2%減)となりました。

### 増収増益

【タイ・マルジュン社】

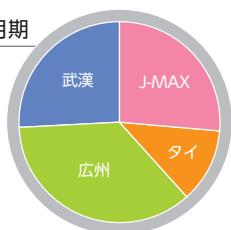
タイにおいては、主要客先の輸出向け自動車部品及び汎用エンジン部品等の生産の回復に加え、金型設備等の販売が増加したことにより、売上高は増加いたしました。なお、生産性改善に伴う要員適正化等の固定費削減の推進により、利益は増加いたしました。

以上の結果、売上高は3,168百万円(前年同四半期比21.5%増)、経常利益は35百万円(前年同四半期は103百万円の経常損失)となりました。

## 〈セグメント別売上高構成比率〉

2022年3月期

第2四半期



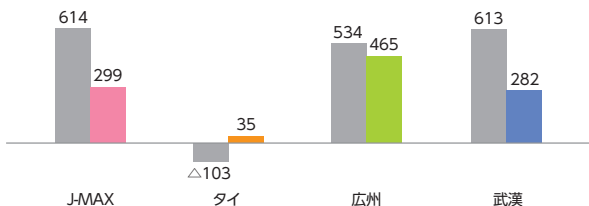
■ J-MAX ..... 26.6%  
 ■ タイ ..... 11.8%  
 ■ 広州 ..... 36.0%  
 ■ 武漢 ..... 25.6%

## セグメント別経常損益 (第2四半期)

(単位：百万円)

■ 2022年3月期

■ 2023年3月期



### 増収減益

広州

【広州丸順汽车配件有限公司】

広州においては、上海ロックダウンの影響に伴う主要客先の生産停止及び金型設備等の販売が減少したこと等により、売上高は現地通貨ベースでは減少したものの、円安による為替変動により、邦貨ベースでは増加いたしました。また、生産性改善等の原価低減活動を推進したものの、原材料価格の高騰及び生産停止に伴う固定費負担の増加等の影響により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は8,893百万円（前年同四半期比11.6%増）、経常利益は465百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

### 減収減益

武漢

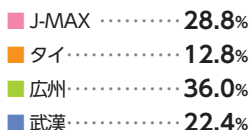
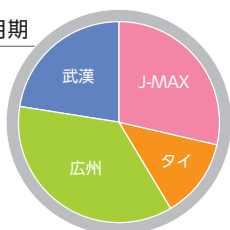
【武漢丸順汽车配件有限公司】

武漢においては、上海ロックダウンの影響に伴う主要客先の生産停止の影響等により、売上高は現地通貨ベースでは減少したものの、円安による為替変動により、邦貨ベースでは前年同四半期と同水準となりました。また、物流効率化による輸送コスト等の原価低減活動を推進したものの、原材料価格の高騰及び生産停止に伴う固定費負担の増加に加え、生産車種構成の変化等の影響により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,540百万円（前年同四半期比1.9%減）、経常利益は282百万円（前年同四半期比53.9%減）となりました。

2023年3月期

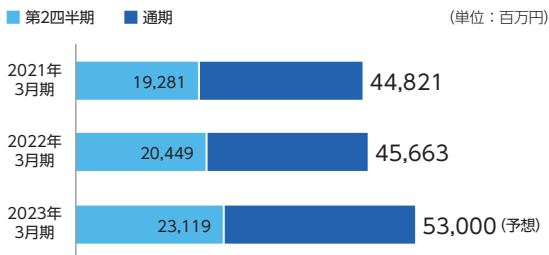
第2四半期



# 連結決算ハイライト

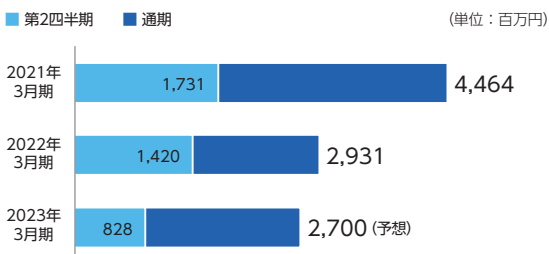
## 売上高

23,119百万円 ● 前年同四半期比 ↑



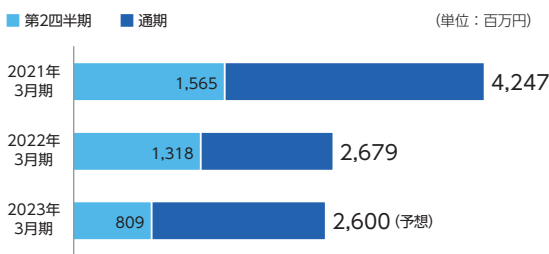
## 営業利益

828百万円 ● 前年同四半期比 ↓



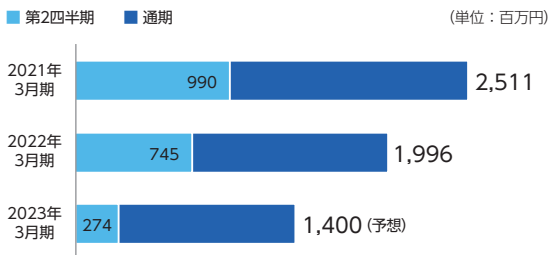
## 経常利益

809百万円 ● 前年同四半期比 ↓



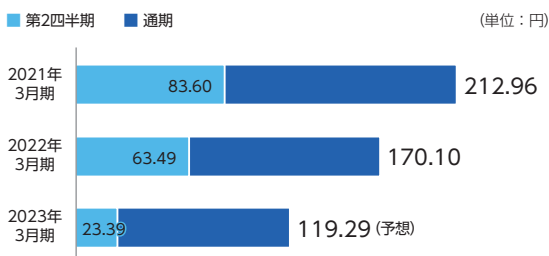
## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

274百万円 • 前年同四半期比 ↓



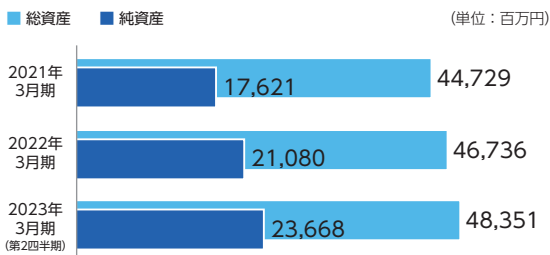
## 1株当たり親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

23.39円 • 前年同四半期比 ↓



## 総資産・純資産

48,351百万円 • 23,668百万円

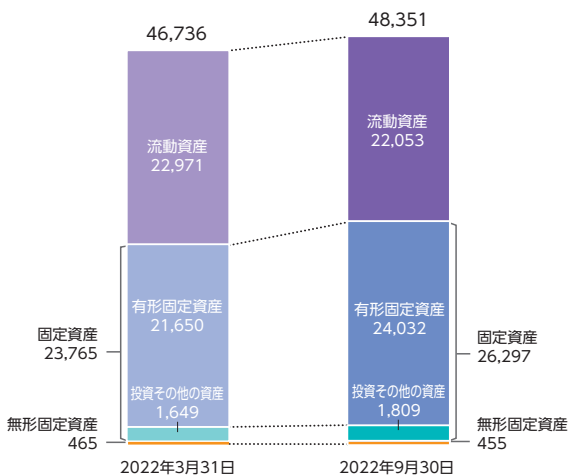


# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (要旨)

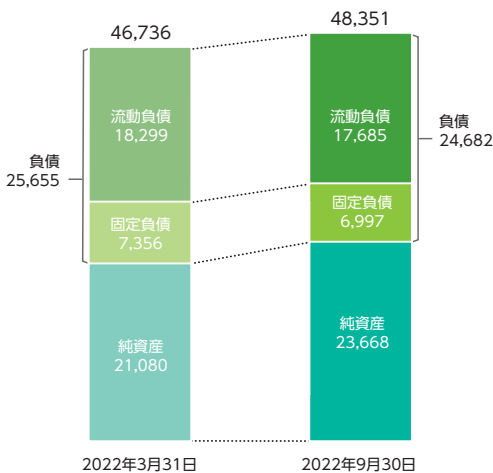
### 資産の部

(単位：百万円)



### 負債・純資産の部

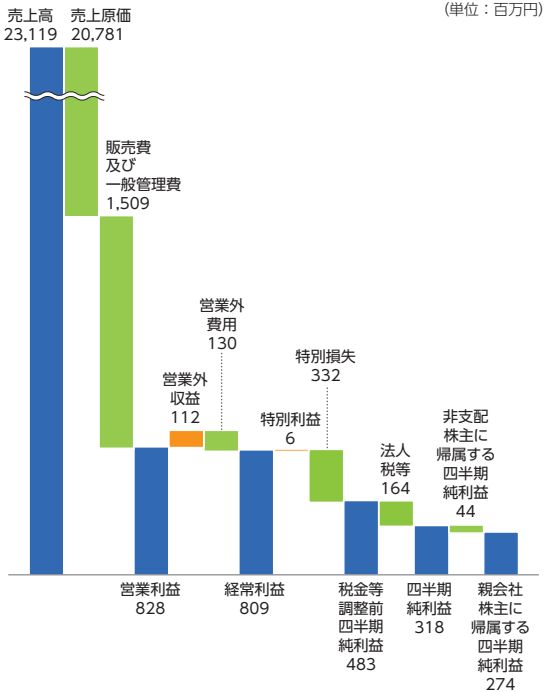
(単位：百万円)





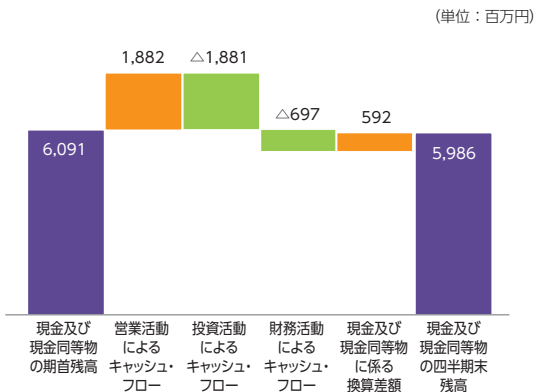
## 四半期連結損益計算書 (要旨)

2022年4月1日～2022年9月30日



## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

2022年4月1日～2022年9月30日



# 会社の概要 (2022年9月30日現在)

## 会社概況

### 商号

株式会社 J-MAX  
(英文社名: J-MAX Co.,Ltd.)

### 創業

1952年7月

### 設立

1960年1月

### 資本金

1,950百万円

### 事業内容

自動車用車体プレス部品の製造  
自動車用精密プレス部品の製造  
各種金型の設計・製作  
治具・検査具の設計・製作

### 従業員数

327名 (連結1,879名)

### 電話番号 (代表)

0584-46-3191

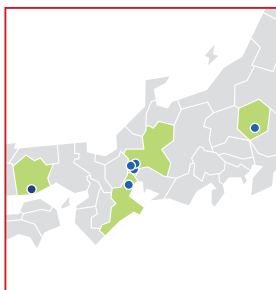
## 取締役・監査役

代表取締役	齊藤 浩
取締役	青山 秀美
取締役	猪熊 篤俊
取締役	山崎 英次
取締役	露木 好則
取締役(社外)	竹内 治彦
取締役(社外)	柳澤 民紀
取締役(社外)	大倉 睦美
常勤監査役(社外)	須長 敏彦
監査役(社外)	馬淵 仁
監査役(社外)	水谷 博之
監査役(社外)	澁谷 英司

### 執行役員

社長執行役員	齊藤 浩
常務執行役員	青山 秀美
常務執行役員	猪熊 篤俊
上席執行役員	松井 恒夫
上席執行役員	棚橋 哲郎
上席執行役員	山崎 英次
執行役員	森 和行
執行役員	小見山 肇
執行役員	山口 忠美
執行役員	本田 喬之

## 事業拠点



### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

### 鈴鹿工場

三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社日本陸送内)

### 栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

とちぎ産業交流センタービル202号室

### 岡山駐在事務所

岡山県倉敷市神田1-5-22

### 広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市

広州経済技術開発区永和経済区

永盛路8号

### 武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市

東湖新技術開発区光谷一路223号

### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN

NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG

KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

### ベストックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,

DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

## 株式の状況

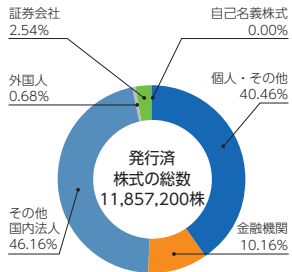
### 株式数及び株主数

発行可能株式総数  
39,000,000株

発行済株式の総数  
11,857,200株  
(自己株式289株含む)

株主数  
2,106名

## 株式数構成比

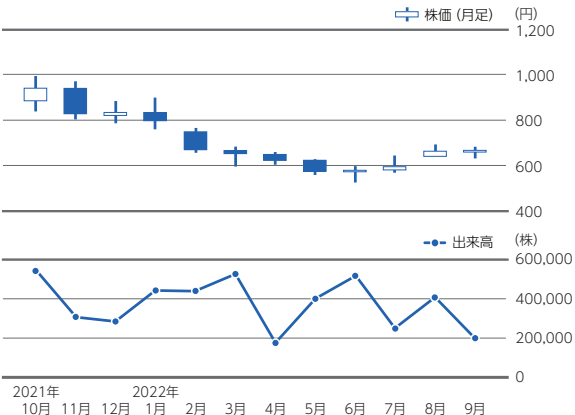


## 大株主の状況

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
東プレ株式会社	2,370,700	19.99
今川 喜章	1,022,770	8.63
本田技研工業株式会社	988,950	8.34
太平洋工業株式会社	463,950	3.91
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.13
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	359,500	3.03
今村金属株式会社	344,900	2.91
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.74
J-MAX取引先持株会	303,000	2.56
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.53
有限会社イマガワ	300,000	2.53

(注) 当社は、自己株式289株を保有しております。持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株価チャート



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日 期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



### ホームページ

決算情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時更新・掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

当社ホームページURL

<https://www.jp-jmax.co.jp>

J-MAX

検索



本株主通信は、環境保全のため「植物油インキ」で印刷しています。